

平成28年3月定例会

# 市長説明要旨

山 鹿 市

本日、ここに、平成28年3月定例会を招集しましたところ、議員各位には公私ともにご多用の中、ご参集を賜り厚くお礼申し上げます。

まず初めに、私ごとではございますが、今回の突然の入院につきましては、議員の皆さまをはじめ市民の皆さまに大変ご心配をおかけいたしました。お陰をもちまして、大事に至ることなく、2月1日から公務に復帰いたしております。今後とも、健康には十分留意しながら、市政運営に尽力してまいりたいと思っております。

本定例会においてご審議いただきます諸議案の説明に先立ちまして、平成28年度の市政運営に関する私の所信を申し上げ、市民の皆さま並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## ■市政運営方針

政府が1月に出した月例経済報告では、雇用・所得環境の改善などの政策効果により、緩やかな景気回復を期待しつつも、アメリカの金融政策やアジア景気の下振れにより景気が下押しされるリスクがあり、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるとの判断がなされています。

こうした中、国では、長引くデフレからの脱却と少子高齢化の問題に真正面から向き合い、一億総活躍社会を創り上げるため、アベノミクスの新たな3本の矢として『希望を生み出す強い経済』、『夢をつむぐ子育て支援』、『安心につながる社会保障』を掲げ、「GDP 600兆円」、「希望出生率 1.8」、「介護離職ゼロ」の目標を打ち出し、経済再生を最優先で取り組むとしております。

本市といたしましても、まち・ひと・しごと創生の基本となる「山鹿市長期人口ビジョン」及び「山鹿市総合戦略」を策定し、人口減少の抑制を図る将来展望を実現するため、今後5年間の目標や取組の方向性として、「やまがの戦略的産業の推進と魅力ある雇用の創出」、「やまがの地で生み育て・くらしやすい地域を創る」の2つの基本目標を定めております。

また、山鹿市教育大綱を策定し、山鹿市の将来を担う人材の育成のため、「命」を輝かせる教育、「志」を育てる教育、「生き抜く力」を育む教育の3つの方針を定めております。

平成28年度は、「人輝き飛躍する都市やまが」を将来像に掲げた、新たな「第2次山鹿市総合計画」に基づき、市民、民間と行政が相互に補完、協力し合いながらまちづくりに取り組んでまいります。

市政運営の方針として、引き続き「人をつくる・人を育てる」、「経済をつくる・活性化する」、「人口減少に歯止めをかける・定住促進を図る」の3本の柱を、行財政運営の大きな方向性として定め、新たなスタートを切りたいと思います。

### ■ 予算編成の考え方

続きまして、平成28年度の予算編成方針について申し上げます。

平成28年度は、第2次山鹿市総合計画及び山鹿市総合戦略に基づく施策を展開する初年度に当たります。

本市では、これまで第1次、第2次財政構造改革大綱、財政健全化計画等に基づき、収支改善に取り組むなど、財政健全化アクションプランを確実に実行し、健全で効率的な財政運営に努めてまいりました。

また、本年度は、第3次財政構造改革大綱の策定を予定しており、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立を目指してまいります。

平成28年度は、以上のような点を踏まえつつ、山鹿市総合戦略に基づく施策に予算を重点配分することといたしました。

このような考えのもとに編成しました、平成28年度の一般会計

予算の規模は、280億5千万円であります。これに9特別会計と3企業会計を合わせますと、純計で479億6,975万3千円となりました。

## ■28年度に重点的に取り組む施策

それでは、ただ今申し上げました予算編成方針に基づき、「3本の柱」ごとに重点的に取り組む施策の概要について、ご説明いたします。

まず、第1の柱「人をつくる・人を育てる」についてであります。

市民が将来に希望を持ち、いきいきと暮らしていくために、ふるさとの良さを理解し、ふるさとに誇りを持ち、地域を支えていく人材を育成してまいります。

### ① 子ども輝きプラン

学校には、「豊かな心の育成」、「学力・体力の向上」、「いじめの早期発見、早期解消」、「不登校児童生徒への対応」、「支援を必要とする子どもへの対応」など数多くの課題があります。これらの課題を解決するため、教師の指導力向上を図るとともに、教師が本務に専念できる教育現場の環境整備を進めてまいります。

また、平成28年4月からいわゆる障害者差別解消法が施行されること

に伴い、学校等公的機関での合理的配慮の提供が義務化されます。専門知識を有する人材を確保し、障害の有無にかかわらず、全ての児童生徒の個性に応じた教育が受けられる学校づくりを推進してまいります。

## ② 地域づくり市民塾

平成26年度から、様々な分野で将来の山鹿市を担う有為な人材の育成を図るため、地域づくり市民塾事業を行っております。平成28年度も、市民の方へ募集を行い、講師を招いてワークショップを開催いたします。

参加者同士の交流や地域資源の再確認などを行いながら、自分たちが好きなこと、やりたいことから始まる新しい地域づくり活動について考え、実践につなげ、地域全体に活動の輪を広げてまいります。

## ③ 防災リーダー育成

災害の発生時における減災を図るためには、自助・共助・公助の体制づくりを進める必要があります。

中でも、共助の部分を担っていただく自主防災組織については、地域防災の要としての充実が不可欠であります。

今回、山鹿市防災マップ改訂を行い、全戸に配布して、災害や防災に関する事前情報などを提供することにより、市民の防災意識の向上とその活用を図るとともに、自主防災組織等で中心となって活躍いただく防災

リーダーの育成を図ってまいります。

次に、第2の柱「経済をつくる・活性化する」についてであります。

基幹産業である農林業の活性化のため、引き続き「収益性の高い農林業」の実現を目指し、6次産業化の推進や農地集積・集約化の促進など、農業の活性化と農地の多面的機能の持続的維持・発揮につなげてまいります。

商工観光については、山鹿の地に域外から、ひと・カネ・モノ・情報を呼び込み対流させることで、観光入込客数や宿泊客数の増加、起業や雇用の創出へとつなげ、地元にお金が落ちる仕組みをつくり地域経済の活性化に取り組んでまいります。

### ① ワイナリー構想

菊鹿ワイナリー構想を実現するため、用地取得や土地開発許可などを進め、農産物を生かした商品開発など、ワイナリー全体をブランド化する取組を進めてまいります。

### ② 新養蚕産業構想

新養蚕産業構想の核となる養蚕施設の建設が4月から開始され、本年12月には完成される予定です。

その新たな地域ブランドとなる「山鹿シルク」を、本市独自の産業として定着させるため、国内外へ向けた情報発信やPR活動、地場企業との連携、また地元大学生や農業高校生との交流などを実施し、地元雇用の創出と各種産業分野への拡大につなげ、定住促進と地域経済の活性化を図ってまいります。

### ③ 山鹿灯籠ジャパンブランド構想

山鹿灯籠は、国の伝統的工芸品に指定されたことで、知名度が高まってきました。

この日本一の和紙と糊の工芸品である山鹿灯籠と日本一優雅な踊りである千人灯籠踊りを、さらに磨きをかけて国内外に発信し、更なるブランド力の向上につなげてまいります。

### ④ 菊池川流域日本遺産認定推進

日本遺産とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、地域の認知度の向上や交流人口の拡大などによる地域活性化が期待されています。

菊池川流域は、肥後米の集積所をはじめ、方保田東原遺跡、チブサン古墳に代表される装飾古墳群や鞠智城など、古代から近世に至るまで、多くの文化遺産が点在しています。



そのため、昨年10月に、玉名市・山鹿市・菊池市・和水町が連携し、「菊池川流域日本遺産認定推進協議会」を結成しており、流域の米に関する文化遺産を結びつけて、平成28年度の日本遺産認定を目指し、取組を進めてまいります。

最後に、第3の柱「人口減少に歯止めをかける・定住促進を図る」についてであります。

人口減少に歯止めをかけるため、子どもを安心して産み育てる環境を整備し、健康で安心して暮らし続けることのできるまちづくりを目指してまいります。

### ① 移住定住促進

市外在住の方に、移住定住の地として選ばれるためには、魅力ある情報の発信や移住相談に対する支援体制の充実、住宅支援などが必要となります。

そのため、移住相談窓口の設置や空き家管理システムの構築による有為な情報の提供、市外から家族が転入することにより、三世代同居となる世帯に対する住宅整備への支援などを実施し、移住定住の促進を強化してまいります。

## ② 子育て支援の充実

子どもを産み、育て、暮らし続けたいと思えるまちづくりを推進するため、引き続き18歳以下の子ども医療費の助成を行うほか、不妊治療への支援や妊婦への無料受診券の配布、おむつ購入の助成、予防接種の助成、放課後児童クラブや病後児保育の充実など、きめ細かな子育て支援に取り組めます。

## ③ 健康増進

健康づくりでは、引き続き、健康診断の受診勧奨及び生活習慣病の予防や重症化予防に取り組めます。

さらに、より多くの市民が、自分の健康に関心を持ち、「歩く」ことなど、健康保持のための生活習慣を継続して実践できるように、健康マイレージ制度の導入に向けた調査、研究を進めてまいります。

## ④ カルチャースポーツセンター整備

カルチャースポーツセンターは、本市の中核スポーツ施設であり、総合型スポーツクラブの中心拠点だけでなく、余暇活動や健康づくりの拠点となっております。

平成28年度は、「カルチャースポーツセンター第2次整備計画」に基づき、テニスコート及び多目的グラウンドの実施設計と、それに伴う敷地の

造成工事を行います。

市民に対し充実したスポーツ環境を提供するとともに、さまざまな大会が開催できるよう整備を行うことで、健康増進のほか、観光や文化施設と連携した地域づくりの拠点施設としての役割強化を図ってまいります。

### ■その他の重要事業

以上3つの重点施策のほかに、以下の《重要事業》にも取り組んでまいります。

○山鹿市ふるさと応援寄附金の返礼品の充実を図ります。

○地域づくり活動や自治活動への支援を引き続き行い、地域と行政による協働のまちづくりを推進します。

○一般廃棄物処理施設の整備については、平成31年4月の稼働に向け、実施設計を含む工事の発注を行います。

○高齢者、障害者、子育て、生活困窮者に対する総合的な相談支援体制の整備を進めます。

○地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った舵取り役として、「山鹿版DMO」の設立を目指し、観光戦略の策定や地域資源を生かした商品開発などを推進します。

○東京オリンピックが開催される平成32年を視野に、訪日外国人を含め

た観光客の受け入れ態勢の整備を行い、経済の活性化を図ります。

○下水道施設の長寿命化を図るため、計画的な改築更新を行うとともに、

安心・安全な水道水の確保のために水道施設の整備に努めます。

○小学校再編整備のため、菊鹿小学校の給食棟整備の他、めのだけ小

学校の校舎増改築工事、鹿本地区3小学校の統合に係る施設整備の

基本設計及び実施設計を行います。

○公立保育園・幼稚園再編整備のため、岩野保育園の民営化を行い、

平成29年4月の鹿北地域統合保育園の開園を目指します。

## ■結びに

以上、平成28年度の市政運営や予算編成に当たっての、私の基本的な考え方と施策の概要について申し上げます。

平成28年度は合併から12年目を迎えます。既に普通交付税の合併算定替の段階的な縮減、さらには将来的な人口減少と低迷が続く地域経済を克服するためには、経済対策最優先の取組が重要であると考えております。

本市には、豊かな自然、優れた歴史・文化などが数多くあり、これは他の自治体と比較すれば、優位性であり、強みであります。この強みを生

かし、さらに飛躍させる持続的な戦略を推進することで、市民の皆さまが山鹿での生活の素晴らしさを実感し、自信と誇りを持ち、誰もが住み続けたいと思う自立したまちづくりを進めてまいります。

本年度を、山鹿市の更なる飛躍、市民の幸せを増大させる地方創生「実動元年」と位置づけ、幾多の困難に真正面から立ち向かい、市民の皆さまと一丸となって挑戦してまいりる決意でございます。

本日から16日間にわたりご審議いただきます議案は、条例20件、予算22件、財産の譲渡及び取得5件、市道路線廃止及び認定等3件、人事案件2件、その他2件の計54件と報告3件でございます。これらの諸議案の内容につきましては、担当職員が説明いたしますので、ご審議のうえ、何卒ご議決を賜りますようお願い申し上げます。